

2021 年 10 月吉日

報道関係各位

テンプル大学ジャパンキャンパスに米国の大学から 新教務担当副学長就任

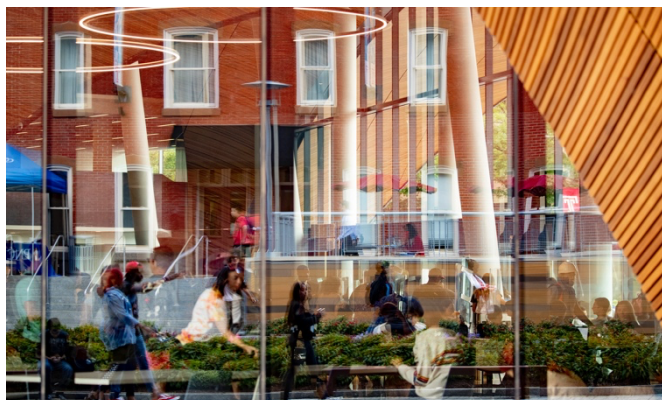


図1 田岡康子（たおか・やすこ）写真

テンプル大学ジャパンキャンパス（東京都世田谷区／学長：マシュー・ウィルソン、以下 TUJ）はこのたび、新たな教務担当副学長として、米国ネブラスカ州のウェイン州立大学より、田岡泰子（たおか・やすこ）博士を迎えることを決定しました。田岡氏は 2021 年 10 月 1 日付で着任します。この任命により TUJ の副学長は、加藤智恵（TUJ 上級副学長兼エンrollment マネジメント担当副学長）、レスリー・A・ティラペリ（教育イノベーション担当

副学長兼図書館長）とともに 3 名体制となります。

教務担当副学長として田岡氏は、TUJ 学部課程の 10 の専攻プログラム、一部をテンプル大学米国本校で履修する「2+2 プログラム」、および 3 つの大学院プログラムを統括することに加え、研究活動、教職員の採用、学籍管理、成績評価・単位認定、教務部、大学間協力、新しい教育プログラム開発など、本学の学術活動のあらゆる面を統括することとなります。

■田岡泰子博士の略歴

古代ギリシャ語・ラテン語、およびその文学の研究者として知られ、学術誌『古典言語教授法』の編集にも携わる。米国グリネル大学（アイオワ州）にて古典研究の学士号、米国オハイオ州立大学にて古典研究の修士号・博士号を取得。2007 年より、南イリノイ大学カーボンデール校の言語文化国際貿易学部にて古典研究部門の責任者および准教授。2017 年より米国ウェイン州立大学

（WSC）の芸術人文学部長。1910 年創立、学生数 4 千人超の大規模校 WSC においては、芸術人文学部の 5 学科（芸術、デザイン、ジャーナリズム、歴史、政治学、地理学、言語学、文学、演劇、音楽など 20 専攻）を統括。40 人の常勤教員を率い、スタジオや大学のテレビ・ラジオ局を含む複数の施設の責任者を務める。さらに、WSC のオーナー（成績優秀者向け）プログラム、学際研究、奉仕学習、海外留学、アドバイジング、就職サービスなども幅広く監督している。

■田岡博士のコメント

「TUJの教員は、それぞれの研究分野で国際的に活躍しつつ、学生に対しても熱意をもって教鞭をとっています。小さなキャンパスならではの親密な雰囲気と、大規模な総合大学ならではの学術研究のリソースを併せ持っていること、学生も教職員も驚くほど多様性に富んでいること、そして、歴史と伝統を誇る日本という国にあり、中でも世界のハブ都市のひとつ東京というロケーション。学生にとって TUJ は素晴らしい学びの環境を提供しています。そんな TUJ の一員となることは、私にとってまさに一生に一度の機会といえます」

■TUJ 学長マシュー・ウィルソンのコメント

「教務担当副学長の採用にあたっては、教育の質に妥協せず、グローバルリーダーとなる人材育成に全力を注ぎ、さらに管理職経験も豊かな人材を世界中から探しました。本学で学ぶ学生にとっては、そうした人材が教務副学長にふさわしく、田岡博士はまさにその条件を満たす理想の人物です。田岡博士は、今年 8 月のティラペリ博士に続き、私の着任（2020 年）後に採用した 2 人目の副学長となります。本学は引き続き新たな次元へ成長を視野に組織変革を進め、優秀な幹部人材および研究者を増やしていく所存です」

テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ) <http://www.tuj.ac.jp/>

米国ペンシルベニア州フィラデルフィアにあるテンプル大学の日本校で、1982 年に東京で開校しました。外国大学の分校として日本で最も長い歴史と最大の規模を誇り、2005 年には文部科学省から初の外国大学の日本校として指定を受けました。米国式カリキュラムに基づき、大学学部課程、大学院教育学研究科、ロースクール、マネジメント修士、アカデミック・イングリッシュ・プログラム、生涯教育プログラム、企業内教育プログラムの 7 つのプログラムで、世界約 60 カ国から多様なバックグラウンドの学生が学んでいます。